

LIBRARY INFORMATION ライブラリー・インフォメーション

2階パープルゾーンに  
「東京五輪」コーナーを設置しました

競技会場の位置関係が俯瞰できる  
競技会場マップ

『東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会ビューマップ』  
(ゼンリン 2019年)

日本語と英語で競技会場と  
開催される競技(種目)を  
網羅した会場分布図

『東京2020オリンピック・パラリンピック  
競技大会会場全図』(ゼンリン 2019年)

会場マップの他、  
五輪関連書籍も多数展示

EXHIBIT INFORMATION

9月の展示情報 ※展示情報は変更する場合がございます。

- 2F パープルゾーン** 「改」(~9/13)  
新元号「令和」が始まりました。江戸から東京へと大転換した明治維新、関東大震災から復興するための新たな都市計画、1964年東京オリンピックを含む高度経済成長、そして再び迎えるオリンピックイヤーに向け、東京がどのように変化しつつあるのかを軸に、政治経済や文化についても「改」をキーワードに資料を集めました。
- 2F パープルゾーン** 「備える」(~9/30) **NEW!**  
災いはある日突然やってきます。日頃から知識や情報を集めておくことは、必要な心がけのひとつです。自然災害だけでなく、人間が作り出すさまざまな危機を想定して備えておきましょう。
- 3F グリーンゾーン** 「食-令和ver.-」(~10/18)  
グリーンゾーンには新たに、食品や料理に関する本が多数入りました。そこで、「食のUP DATE」と銘打ち、皆様に手に取ってもらえるよう展示し紹介しています。また、未来型食材や現代の風潮にあった食生活の紹介も行っています。
- 3F ブルーゾーン** 「ゲーム」(~12/13) **NEW!**  
ゲームというとコンピューターゲームを思い浮かべる人が多いかもしれませんが。この展示では使用する道具(ツール)ごとに分類して幅広くゲームの世界を紹介し、それぞれのゲームで戦略性・対人スキルなど、どのような力が求められるのかを考えました。

夏の疲れを癒す本4選

体のだるさや睡眠不足を感じていませんか?  
夏の疲れが残しやすい今の時期におすすめの本を4冊ご紹介いたします。

『一流の睡眠』  
表 英洙 著/ダイヤモンド社/2016年

『野菜と栄養たっぷりな  
具だくさんの主役サラダ200』  
エダジュン 著/誠文堂新光社/2018年

『温泉はなぜ体にいいのかわかる』  
松田忠徳 著/平凡社/2016年

『女性のための  
自分で選べる漢方の本』  
大澤 稔 著/PHPエディターズ・グループ  
2014年

閲覧席を利用される  
みなさまへ

いつも日比谷図書文化館ならびに図書フロアをご利用くださり、ありがとうございます。図書フロアには約300の閲覧席がありますが、土日・祝日などはお席がたいへん混みます。一人でも多くの方におかけいただき、気持ちよくお過ごしいただけますよう、譲り合ってください。また長時間離席された場合は、防犯のためお荷物をお預かりすることがあります。貴重品はお手元から離さず、盗難・紛失にも十分ご注意ください。

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

**東京宝塚劇場**

東京での宝塚歌劇の拠点として1934(昭和9)年に誕生し、2001(平成13)年にリニューアルオープン。エントランスに敷かれた赤い絨毯と光り輝くシャンデリアが演出するエレガントな空間は、夢の世界へと誘います。宝塚大劇場と同様の舞台設備を備え、1年を通して宝塚歌劇を上演しています。

公演情報  
9月6日(金)~10月13日(日)  
星組公演ミュージカル・フルコース  
『GOD OF STARS 一食聖一』  
スペース・レビュー・ファンタジア  
『Éclair Brillant(エクレール ブリアン)』



Tokyo Takarazuka Theater

**日生劇場**

1963(昭和38)年、日本の芸術文化発展のため日本生命によって創設。オペラやミュージカルなど多くの作品を上演し、子どもたちの豊かな心を育む作品も届けています。また、柔らかな曲線によって作られた場内は、天井に約2万枚のアコヤ貝を施されるなど他にはない幻想的な空間を生み出しています。

公演情報  
11月9日(土)・10日(日)  
NISSAY OPERA 2019 オペラ『トスカ』



Nissay Theatre

**シアタークリエ**

2007(平成19)年、日比谷の「芸術座」跡地に誕生した劇場。「創造」から「想像」へ、様々な人々が楽しめる多彩なジャンルの作品を上演しています。また、ギリシャ悲劇の名セリフが刻まれたエントランスの壁面や「楽器」がモダンにデザインされた地下2階ホワイエの絨毯などアート作品にも出会えます。

公演情報  
9月3日(火)~25日(水)  
ミュージカル『Little Women -若草物語-』

※公演の詳細は、各劇場のホームページ等で確認ください。



Theatre Creation

日比谷の劇場で  
感動を  
目撃する!  
Theaters  
in Hibiya

世界への扉が開かれた明治時代。国貨や外交官をもてなす社交場「鹿鳴館」や日本で初めての洋風公園として開園した日比谷公園など、日比谷は当時の人々に新しい時代の訪れと西洋文化に触れられる場所として発展しました。そのよるなか、日比谷の劇場文化は生まれ、大衆に音楽や舞台をより身近なものとなりました。時代と共に私たちの目の前で繰り広げられる夢のような世界は、令和という新しい時代の今もなお感動を届け続けています。

図書フロア企画展示のお知らせ  
2019年9月17日(火)より2階パープルゾーンにて展示「劇場・映画の街 千代田」を行います。

calendar 開館時間:平日10時~22時 土曜10時~19時 日祝10時~17時 休館日

2019年9月							2019年10月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	6	7	8	9	10	11	12
8	9	10	11	12	13	14	13	14	15	16	17	18	19
15	16	17	18	19	20	21	20	21	22	23	24	25	26
22	23	24	25	26	27	28	27	28	29	30	31		
29	30												



千代田図書館企画展示

書評キャンパス

「いまどきの大学生 解体新書」

会期 8月26日(月)~11月23日(土)  
※9月22日(日)、10月27日(日)は休館

会場 千代田図書館9階 展示ウォール

大学生は、どんな本を読んで、何を感じているのか?彼らの興味を持った本と、彼らの書いた書評を読んでみよう。若者は何を考えているのか、わからない。シニア層、ミドル層にとつての永遠の難題が、この展示で解決する。

From Chiyoda Public Library

いまどきの大学生  
UNIVERSITY STUDENT'S BOOK REVIEW

# 9・10月の講座

〈参加申込〉電話(03-3502-3340)またはホームページにて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民料金のある講座は、**当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。**

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

## 9/3 展覧会への入口講座Vol.29 千代田区内ミュージアム連携企画 芭蕉の書の魅力

講師：金子 馨(出光美術館 学芸員)

「古池や蛙飛び込む水の音」の句で有名な俳人・松尾芭蕉(1644～1694)は、元禄2年(1689)に奥の細道の旅に出ます。今年は芭蕉が旅に出て、330年の記念の年を迎えます。これを記念して、出光美術館では「奥の細道330年 芭蕉」展を開催します。講演では書に焦点を絞り、芭蕉の書の魅力をご紹介します。

■日時:9月3日(火)19:00～20:30(18:30開場)  
 ■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■定員:200名 ■参加費:1000円(千代田区民500円)



## 9/9 心を育み脳が紡ぐ生命の進化の来し方行く末

講師：入来 篤史(理化学研究所・生命機能科学研究センター・象徴概念発達研究チーム チームリーダー)

私達の心は、臓器の一つである脳が、『成長を前提とした円環』的な進化によって手に入れた、生命現象の一つです。つまり、脳(神経ニッチ)が膨大し、知的能力(認知ニッチ)が高まり、知性で世界(環境ニッチ)を改造し、その環境に適応してまた脳が大きくなる、という『三位一体ニッチ構築』です。すると、成長を前提とした私たちの世界は、やがて行き詰まってしまうのでしょうか?一緒に考えてみたいと思います。

■日時:9月9日(月)19:00～20:30(18:30開場)  
 ■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)  
 ■定員:200名 ■参加費:1000円



## 9/12 知られざるユーモア大国キューバーハバナ国際マンガ大会に招待されて

講師：小野 耕世(マンガ評論家)

1979年のユーモア美術館の開設以来、キューバでは隔年で国際マンガ・コンテストが催されてきた。ハバナ創立500周年の今年、とりわけ盛大なお祭り騒ぎとなったこのイベントに国際審査員のひとりとして招かれた私は、キューバの最新のアート状況と急展開するアメリカとの関係などについて語りたい。

■日時:9月12日(木)19:00～20:30(18:30開場)  
 ■会場:4階 スタジオプラス(小ホール)  
 ■定員:60名 ■参加費:1000円



## 9/18 江戸歴史講座第62回 夏草の夢ー『おくのほそ道』高館

講師：深沢 真二(和光大学教授)

芭蕉が『おくのほそ道』の高館の章で、源義経らの往時を懐古して詠んだ「夏草や兵(つはもの)どもが夢の跡」。この「夢」とは何だろうか。従来の諸説を確認しつつ、近年の「夢」研究の成果をもとに「兵どもの夢」の新たな解釈を試みる。

■日時:9月18日(水)19:00～20:30(18:30開場)  
 ■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)  
 ■定員:200名 ■参加費:1000円(千代田区民 500円)



「高館義経堂(たかだちぎけいどう)」(写真提供:毛越寺)

## 9/21 書物の構造と記憶

～形と匂いで読む世界～(全2回)  
 ルリユール：岡本幸治×アーティスト：井上尚子

講師：岡本幸治(製本家、書籍修復家)、井上尚子(美術作家)

本に詰まっている文字以外のたくさんの情報は、来歴の違いによる経年変化で独特な存在となっていく。本講座では、修復前の本の解体作業や古書の匂いから紙の歴史や本が持っている特性などを学び、今後、本とどのように向き合い、どのような関係性を築くことができるのかについて参加者の皆さんで語り合い、考えます。

※当日は、香水など香りの強いものの着用はお控えのうえ、ご来場ください。



井上尚子 Photo by:Nikolaus Steglich

■日時:第1回 Made in Japanの洋装本 9月21日(土) 14:00～16:00(13:30開場)  
 第2回 古い洋書の記録と記憶を探る 9月28日(土) 14:00～16:00(13:30開場)  
 ■会場:4階 スタジオプラス(小ホール)  
 ■定員:各回30名 ■参加費:各回1000円

## 9/25 ドナルド・キーン追悼企画 第1弾 ドナルド・キーンが遺したもの

講師：中津 義人(ドナルド・キーン・センター柏崎 副館長)

日本文学研究者で文化勲章受章者のドナルド・キーン氏が今年、96歳で天寿を全うされました。日本文学と日本の文化を世界に広く紹介したキーン氏の人生に散りばめられた心に響く数々のエピソードや語録から、私たちに「遺したもの」を見つめます。図書フロアでは関連展示(9/1～10/20)を行います。

(協力:ドナルド・キーン・センター柏崎)

■日時:9月25日(水)19:00～20:30(18:30開場)  
 ■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)  
 ■定員:200名 ■参加費:1000円(学生500円)  
 ※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。



ドナルド・キーン

## 9/25 世界の音楽2019 明清楽の魅力

～清楽演奏家・鏑木溪庵、没後150年を記念して～

講師：稲見 恵七(明清楽器研究者)

明清楽とは、幕末から明治前期に我が国において、とても盛んに演奏された中国の民間音楽です。文政年間に長崎遊学の日本の文人たちが、中国福建省より貿易のために来ていた、林徳建らとの交流の中から修得されたものだと言われています。その後長崎から、大阪派・東京派と二分され広まりました。今回の講座は本年9月25日が、その東京派を代表する人物、鏑木溪庵の150回忌にあたるため、それを記念し、溪庵を中心に明清音楽の魅力を探って行きます。

■日時:9月25日(水)19:00～20:30(18:30開場)  
 ■会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員:60名 ■参加費:1000円



## 9/30 バリアフリー温泉の楽しみ方

講師：山崎 まゆみ(温泉エッセイスト、跡見学園女子大学講師)

ご高齢の方や身体の不自由な方でも安心して楽しめる温泉旅行のノウハウを学びましょう。バリアフリー温泉や旅館の選び方、便利な持ち物などとあわせて、これまでに訪ねた世界の温泉や、自分に最もあう温泉(泉質)のを見つけ方など、知っていればもっと温泉を楽しめる話題や基礎知識もご紹介いただきます。皆さん一緒に積極的に出かけましょう!

■日時:9月30日(月)19:00～20:30(18:30開場)  
 ■会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員:60名 ■参加費:1000円



## 10/2 飢餓のない世界を目指して

～WFP広報官が伝える飢餓の今、支援の今

講師：上野 きより(WFP 国連世界食糧計画 日本事務所 広報官)

世界の飢餓人口は8億2100万人に上り、実に9人に1人が飢えに苦しんでいます。エチオピア、ネパール、ナイジェリアで食料支援に携わってきた講師に、世界の飢餓の状況や支援活動の内容、直面する課題とその解決に向けての取組みをうかがいます。飽食のわが国では実感しづらい「飢餓」の問題。知ることからはじめましょう。

■日時:10月2日(水)19:00～21:00(18:30開場)  
 ■会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員:60名 ■参加費:1000円



## 10/2 人類が初めて見た銀河中心の巨大ブラックホール

講師：紀 基樹(工学院大学学習支援センター 講師)

2019年4月、イベントホライズンテレスコープ(EHT)による史上初のブラックホール撮影のニュースが大きな話題となりました。本講演では、EHTコラボレーションメンバーの紀基樹氏が、ブラックホール撮影までの軌跡、画像が示す物理的意味、更なる挑戦についてわかりやすく紹介します。

■日時:10月2日(水)19:00～20:30(18:30開場)  
 ■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)  
 ■定員:200名 ■参加費:1000円



©EHT collaboration

## 10/10 活字のかたち鑑賞会 その3 鳥海 修さんの書体のつくりかた

講師：鳥海 修(書体設計士)

書体設計士である講師に、本文書体の作り方・考え方という視点から、本と文字のおおまかな歴史、日本語の構造と書体とその作り方、最近のトレンドとなっている書体の基本的な知識をお話いただけます。さらに、その手順やポイントの解説とともに、実際にひらがな一文字をレタリングする工程をご覧いただけます。

■日時:10月10日(木)19:00～21:00(18:30開場)  
 ■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)  
 ■定員:200名 ■参加費:1000円



## 特別研究室企画展示

### 100年後も手に取れる本に ～内田嘉吉文庫修復報告2019～

～9月30日(月)まで開催中

2018年度に行った内田嘉吉文庫蔵書の修復記録と修復を終えた本を展示し、長く使い続けるための工夫を凝らした本の修復を紹介します。今回は大型の洋書や和本、絵図など、修復した資料のジャンルがさらに多岐にわたっています。資料としての機能を回復させ、100年活用することのできる修復とはどのようなものか、実物と修復作業の記録パネルでご覧ください。展示本はすべて手に取ってご覧いただけます。古い本の紙質や、今ではなかなか見られない凝った装幀などもあわせてお楽しみください。



「父」(内田誠 著 / 双雅房 / 1935年)

## 古文書塾てらこや体験講座 ◆各回1000円

古文書専門塾として、初心者から経験者まで楽しみながら学習を進めています。10月期の開講に合わせ、古文書の世界に無理なく入っていける「体験講座」をご用意いたしました。まずはお試しください。



	講座名	曜日・時間	体験講座実施日
入門コース 120分	古文書のいろは 筆字のくずし字	(月)13:30～	9/30
		(金)13:30～	9/27
		(金)18:30～	9/20
	いろはの次 一 大江戸大変	(月)18:30～	9/30
いろはの次 一 江戸時代の海外知識	(金)10:30～	9/20	

本科コース 120分	文人画と碑文 一掛軸を読む	(日)13:30～	9/22
	絵と文字で楽しむ江戸歌舞伎(応用編)	(土)13:30～	9/21

特設月1回 コース	120分 『源氏物語 若紫』を読む[翻字者育成講座]	(土)14:00～	10/12
	90分 『源氏物語 若紫』を読む[異文を楽しむ講座]	(土)11:00～	10/12

特別講座 90分	浮世絵を読む	(水)10:20～	9/18
	開国ニッポンの外国人一教室で語る「ドキュメンタリー番組」	(水)13:30～	9/25
	商家文書を読みとく 一三井の子弟教育	(水)19:00～	9/25
	聖徳太子の伝説と真実 一江戸の聖徳太子伝を読む	(木)10:30～	9/26
	江戸を楽しむ 一江戸の寺社あれこれ	(木)18:30～	9/26
	江戸・明治の書状を読む 一形式と内容、一歩から	(金)18:30～	9/27
	絵と文字で楽しむ江戸歌舞伎(入門編)	(土)10:30～	9/21

■会場:4階セミナールーム(会議室)、スタジオプラス(小ホール)  
 ■定員:各講座23名(申込順) ■費用:各講座1000円  
 ■資料請求・体験講座のお問合せ:電話(03-3502-3340) 日比谷図書館文化館代表 古文書塾てらこや担当迄